

関南部地区

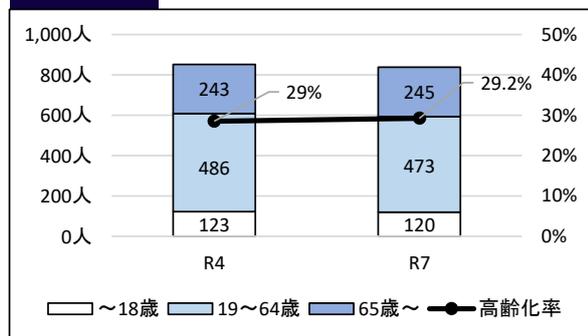
◆概要

	【位置図】	まち協名	関南部地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市関町萩原172-3	電話	0595-96-1011
		地区構成	古厩 萩原 関ヶ丘 福德 久我 越川 金場		
		地域特性	<p>亀山市の南部に位置し、昭和40年に東海圏と近畿圏を結ぶ国道25号線の自動車専用道路として名阪国道が開通し、沿線の7自治会の生活道路になっております。古代から大和街道は、加太を越え伊賀を通して奈良に通じています。大和街道の金場から越川・久我・福德・萩原を通り伊勢別街道の古厩に抜ける沿線に集落が点在しております。関ヶ丘は、昭和48年に関ニュータウンとして宅地開発され約700戸分が宅地造成されました。しかし、約500戸が分譲放棄地であり、住環境整備が課題となっております。</p>		
面積	1,190.7ha	ホームページ	http://sekinanbutiku.wordpress.com/		
めざす姿	安心・安全に暮らし、幅広い世代が親睦と交流を深め、地域の活性化を目指すまち				
地域の誇り	大和街道から伊勢別街道へと続く、歴史ある自然豊かな地域				
今年度のテーマ	地域課題や健康づくり講座に取り組むイベントで健康増進と地域活性化を推進				

◆人口

	令和4年	令和7年	増減	
総人口	852人	838人	-14人	
人口密度	0.72人/ha	0.70人/ha	-0.02人/ha	
65歳以上	人口	243人	245人	2人
	比率	28.5%	29.2%	0.7%
18歳以下	人口	123人	120人	-3人
	比率	14.4%	14.3%	-0.1%
外国籍	人口	37人	49人	12人
	比率	4.3%	5.8%	1.5%

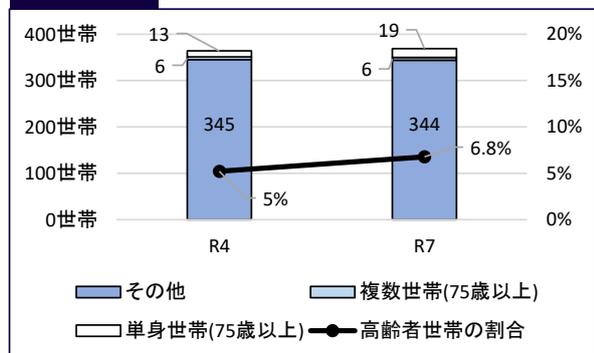
◆人口推移



◆世帯

	令和4年	令和7年	増減
総世帯	364世帯	369世帯	5世帯
単身世帯(75歳以上)	13世帯	19世帯	6世帯
複数世帯(75歳以上)	6世帯	6世帯	0世帯
高齢者世帯割合	5.2%	6.8%	1.6%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	令和4年	令和7年	増減
要支援1.2	11人	11人	0人
要介護1～5	38人	27人	-11人
合計	49人	38人	-11人

◆地域組織

	令和4年	令和7年	増減
自治会	7	7	0
老人クラブ	1	1	0
子ども会	(1)	(1)	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	2
主任児童委員	1
福祉委員	12
介護保険施設・事業所	0
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・一般診療所	0
歯科診療所	0
薬局	0
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	12

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	令和4年	令和7年	増減
ふれあい・いきいきサロン	1	1	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	0	1	1

◆福祉委員会活動

◆構成員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】
敬老会などを開催し、世代間交流を図っています。

【訪問活動】
一人暮らしや75歳以上のみでお住まいの高齢者世帯への訪問を年2回行っています。

【その他】
年2回民生委員・児童委員と福祉委員の情報交換会や健康づくり講座などを行っています。



産直野菜販売



ふれあい菜園収穫祭

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・ふれあい敬老会
- ・ふれあい納涼会
- ・まちおこしフェスティバル
- ・手づくり作品展
- ・産直野菜販売
- ・ふれあい菜園収穫祭
- ・グラウンドゴルフ
- ・健康講座(ピラティス教室)
- ・クリーンアップ作戦
- ・介護予防教室

◆生活支援コーディネーターからのコメント

関南部地区の人口は838人で、そのうち29.2%にあたる245人が65歳以上です。地域内369世帯のうち、6.8%にあたる19世帯は75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の5.8%にあたる49人が外国籍です。

地域の特色として、獣害や耕作放棄地といった地域課題や介護予防について、様々なイベントを通じて取り組んでいます。

地域の活動では、捕獲した鹿などを使ったジビエカレーをふれあい文化祭等のイベント時に振る舞ったり、耕作放棄地を活用し親子での野菜栽培体験を行う等、住民が地域を知る機会とされています。また、福祉部が中心となり、フレイルチェックやピラティス教室を行う等、住民の健康増進や介護予防に取り組まれています。さらに子どもだけでなく高齢者も利用できるスクールバスの運行に合わせて地域イベントを開催することで、高齢世代の外出機会を創出し、参加促進につなげています。

今後も幅広い世代が健康意識や地域への関心を高め、地域の活性化につなげていくことが期待されます。